**2023年度４月　月たより　巻頭言**

「待ってたよ」

幼い頃の４月のはじめを思い返すと、毎年新しい学年に進級することが、嬉しいような、反面緊張するような思いでした。これまで過ごしていたクラスのお部屋や担任の先生から新しい居場所になってしまった…その違和感にも似た空気感は、今でもついこの間の事のように思い出すことができます。けれどそれほど緊張していたはずなのに、気が付くといつの間にか新しい環境にすっかり馴染んでしまっているのが、子どもごころにも不思議だなあと感じたものでした。

新年度はいつでも、どの学年の子どもたちにとってもドキドキの新しい人生のスタートですね。初めて幼稚園の門をくぐるのゆりさんや小さなことりさんにとっては新しい先生やお友だちとの出会いですし、幼稚園に慣れているはずのそらさん・にじさんにとってさえ、担任の先生は誰かな…新しいお部屋やおもちゃはどんなだろう…とワクワクしながら思い描き、期待と少しばかりの緊張を持ちながら幼稚園に登園して来たことでしょう。受け入れる私たち保育者も子どもたちと同様、新年度に期待を持ちながら子どもたちと過ごす園庭や保育室、遊具などなどの環境を見直したり、行事や日々の保育や行事の持ち方を一つずつ振り返りながら準備を進めてきました。
　今年もにじさんは新しいのゆりさんのためにメダルを作り、園庭にチューリップを植えて仲間を迎える準備をしてきました。去年のことりぐみのお友だちは、新年度の小さなことりさんのために、お部屋に可愛い小鳥の飾りを何羽も飛ばしています。「私がことりぐみに入った時泣いちゃったから、新しいことりさんが泣かないように、たくさん飾ってあげたんだ。」と教えてくれました。こうしたおにいさんおねえさんの思いが、今年も新しく入園してくるお友だちにたくさん注がれています。新しい年度も神様に守られながら、みんなで思いを寄せ合って大きくたくましく育っていって欲しいと願っています。

ご入園・ご進級おめでとうございます。